明治時代

名前

問1　明治政府は、ヨーロッパの諸制度を調査した伊藤博文らの報告を受け、強い君主権を持つ憲法を手本にして大日本帝国憲法を草案しました。手本とされた、当時のドイツの憲法を何といいますか。（2025年 宮崎県公立入試 類似）

1. プロイセン憲法
2. ワイマール憲法
3. フランス憲法
4. アメリカ合衆国憲法

問2　条約改正の交渉において、それまで消極的だったロシアなどの列強が日本の要求に応じるようになった主な背景として、適切な説明はどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 日本が岩倉使節団を派遣し、欧米諸国の文化や制度を全面的に受け入れたため
2. 日本が日露戦争に勝利し、極東における軍事的な優位性を確立したため
3. 日本がノルマントン号事件などの海難事故を通じて国際世論を味方につけたため
4. 日本が憲法制定や議会開設を行い、近代的な法や政治の仕組みを整えたため

問3　明治政府が岩倉具視を全権大使として欧米諸国へ派遣している間、留守政府内では朝鮮への対応をめぐり「征韓論」が強まりました。使節団の帰国後、国内の整備を優先する大久保利通らと対立して西郷隆盛や板垣退助が政府を去りましたが、その後の板垣退助の行動について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 静岡県公立入試 類似）

1. 武力によって政府を打倒することを目指し、鹿児島で士族を集めて西南戦争を起こした。
2. 内閣総理大臣に就任し、天皇が大日本帝国憲法を発布する際の式典を執筆・演出した。
3. 農民たちの困窮を救うために秩父事件を指導し、政府に対して増税の中止を訴えた。
4. 国民の選んだ議員による政治を行うよう求め、民撰議院設立の建白書を提出して自由民権運動を始めた。

問4　明治政府が「殖産興業」の政策を推進した目的として、最も適切な背景を説明しているものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 土地の所有権を明確にすることで、地価に応じた現金による安定した税収を得るため
2. 江戸時代から続く伝統的な農業や手工業を保護し、農村の生活を安定させるため
3. 身分制度を廃止して四民平等を達成し、すべての国民が自由に職業を選べるようにするため
4. 欧米の近代的な技術や産業を導入することで経済力を高め、国家の自立を図るため

問5　天皇を頂点とし、その下に内閣、枢密院、裁判所などが配置された明治憲法下の統治図において、一般の国民が直接関与できたルートとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 山口県公立入試 類似）

1. 選挙を通じて参議院議員を選び、内閣不信任案の決議を行うこと
2. 国民投票を通じて、内閣が諮問する枢密院の決定を承認すること
3. 直接選挙を通じて、衆議院と貴族院の両方の議員を選出すること
4. 直接選挙を通じて、帝国議会のうち衆議院の議員を選出すること

問6　自由民権運動が全国的な盛り上がりを見せた背景として、当時の人々が明治政府に対して抱いていた不満や批判の内容として、最も適切なものはどれですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 第一次世界大戦後の国際協力体制を拒否し、鎖国に近い状態を目指していた点
2. 江戸時代の幕藩体制を復活させ、将軍による統治を継続しようとしていた点
3. 特定の藩の出身者たちが権力を握り、自分たちの意向で政治を動かしていた点
4. 選挙権をすべての成人男女に与えることを拒み、納税額による制限を維持した点

問7　日清戦争前後から始まった日本の産業革命について、その特徴を述べたものとして最も適切な説明はどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 政府の直接経営による官営模範工場の設立がピークを迎え、重工業が産業の主流となった。
2. 日露戦争の賠償金を用いて八幡製鉄所が建設され、鉄鋼の国内自給が完全に達成された。
3. 電力の普及により蒸気機関が不要となり、都市部で情報通信産業が経済の中心となった。
4. 日清戦争を機に紡績業などの軽工業が急速に発展し、綿糸の輸出量が輸入量を上回った。

問8　フランスの画家の風刺画には、魚を釣ろうと日本と清（中国）を表す2人の人物が対立しており、その様子を橋の上からロシアを表す人物が静かに見下ろして横取りを狙っている場面が描かれています。この風刺画が表している当時の東アジアの情勢の説明として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2025年 岩手県公立入試 類似）

1. 日本・清・ロシアの3か国が同盟を結び、欧米列強に対抗しようとしている様子
2. 清とロシアが朝鮮の支配権をめぐって対立し、日本がそれを遠くから観察している様子
3. 日本と清が朝鮮の支配権をめぐって対立し、さらにその隙をロシアが狙っている様子
4. 日本とロシアが満州の権益をめぐって対立し、それを清が仲裁しようとしている様子

問9　19世紀後半から始まった日本の産業革命について、その特徴を説明した文として最も適切なものを選択してください。（2020年 岩手県公立入試 類似）

1. 金座や銀座といった組織が主要都市に置かれ、金貨や銀貨の鋳造と流通を管理することで経済を支えた
2. 寺社の門前などで定期市が開かれ、地方の特産物を交換する商業活動が中心であった。
3. 座と呼ばれる同業者団体を結成した商人が、朝廷や幕府に税を納めることで販売の独占権を得ていた。
4. 製糸業や紡績業などの軽工業を中心に発展し、賃金を得て働く労働者の過半数を女性が占めていた。

問10　1872年の学制発布から明治時代後半にかけての小学校就学率の推移について述べた文として、当時の統計状況を正しく説明しているものはどれですか。1870年代後半には男子が40%を超えていたのに対し女子は20%未満であったという記録を踏まえて答えなさい。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 日露戦争の影響で労働力が不足したため、1905年頃の就学率は男女ともに一時的に50%を下回るまで低下した。
2. 男子の就学率は制度の発足当初から90%を超えており、欧米諸国と比較しても遜色のない教育水準を維持し続けた。
3. 当初は男女間で大きな格差があったが、1905年頃には男女ともに就学率が90%を超える極めて高い水準に達した。
4. 女子の就学率は順調に伸び続け、1880年代の初めには既に50%を突破し、男子の数値に追いついていた。

問11　1889年2月11日に発布された日本初の近代憲法である大日本帝国憲法は、天皇が主権者として国民に授けるという形式で制定されました。このような形式の憲法を何と呼びますか。（2024年 長崎県公立入試 類似）

1. 欽定憲法
2. 成文憲法
3. 平和憲法
4. 民定憲法

問12　1872年に公布された「学制」の目的や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 地租改正による税収の安定化を背景に、農村部の子どもたちを労働力から解放して、農業技術のみを教える学校を整備した。
2. 近代国家の建設を目指し、身分や性別の区別なく教育を受けさせるために、全国に小学校を設立することを目指した。
3. 徴兵制度を円滑に進めるため、男子のみを対象として全国の寺子屋を軍事訓練の拠点へと再編した。
4. 天皇への忠誠心や愛国の精神を国民に浸透させるため、道徳教育を重視した教育指針を全国に示した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 プロイセン憲法	明治政府は伊藤博文らをヨーロッパに派遣して憲法調査を行わせました。その結果、皇帝（君主）の権限が強いプロイセン（ドイツ）の憲法を手本として大日本帝国憲法が制定されました。
問2	答え 4 日本が憲法制定や議会開設を行い、近代的な法や政治の仕組みを整えたため	欧米諸国が不平等条約を維持していた理由の一つに、「日本の法律や裁判制度が未発達である」というものがありました。しかし、日本が1889年に大日本帝国憲法を制定し、翌年に国会を開設するなど、近代国家としての法整備を急速に進めたことで、ロシアを含む列強諸国は日本を対等な交渉相手として認めざるを得ない状況になりました。
問3	答え 4 国民の選んだ議員による政治を行うよう求め、民撰議院設立の建白書を提出して自由民権運動を始めた。	征韓論に敗れて下野した人物のうち、西郷隆盛は武力による対抗（士族の反乱）の道へ進みましたが、板垣退助は言論による政府批判を展開しました。板垣は1874年に民撰議院設立の建白書を提出し、これが自由民権運動の出発点となりました。その後、1881年には日本初の本格的な政党である自由党を結成し、国会の開設を強く求めました。秩父事件は激化する自由民権運動の中で困窮した農民が起こした事件であり、板垣本人が指導したものではありません。
問4	答え 4 欧米の近代的な技術や産業を導入することで経済力を高め、国家の自立を図るため	当時の日本は、欧米諸国との不平等条約を改正し、対等な関係を築く必要がありました。そのためには、軍事力の強化だけでなく、経済を近代化して国家の力を強めることが不可欠であり、政府主導で西洋の産業や技術を導入する政策が採られました。
問5	答え 4 直接選挙を通じて、帝国議会のうち衆議院の議員を選出すること	当時の統治構造では、天皇が内閣や裁判所、枢密院などの重要機関を直属させており、国民が政治に参加できる窓口は非常に限定的でした。国民は、帝国議会を構成する二つの議院のうち、衆議院の議員のみを直接選挙で選ぶことができましたが、貴族院の議員は天皇の任命などによるものであったため、国民が選ぶことはできませんでした。
問6	答え 3 特定の藩の出身者たちが権力を握り、自分たちの意向で政治を動かしていた点	当時の政府は薩摩（鹿児島県）や長州（山口県）などの出身者が実権を握る「藩閥（はんばつ）政治」を行っていました。この一部の勢力による独占的な政治運営に反発した人々が、国民の代表による議会（国会）の設置を求めて立ち上がったことがこの運動の大きな要因です。
問7	答え 4 日清戦争を機に紡績業などの軽工業が急速に発展し、綿糸の輸出量が輸入量を上回った。	日本の産業革命は日清戦争を境に本格化しました。特に紡績業では、1890年に国内生産量が輸入量を上回り、さらに日清戦争後の1897年には輸出量が輸入量を上回るなど、日本はアジア市場における主要な供給国となりました。重工業の本格的な発展は、日清戦争の賠償金によって建設された八幡製鉄所の操業（1901年）以降になります。
問8	答え 3 日本と清が朝鮮の支配権をめぐって対立し、さらにその隙をロシアが狙っている様子	この風刺画（ビゴーの「魚釣りあそび」）では、釣ろうとしている「魚」が朝鮮を表し、それを争う2人が日本と清、橋の上から隙を狙っている人物がロシアを表しています。日本と清が朝鮮の支配権をめぐって対立する状況と、そこにロシアが干渉しようと狙っている情勢を的確に表現しています。
問9	答え 4 製糸業や紡績業などの軽工業を中心に発展し、賃金を得て働く労働者の過半数を女性が占めていた。	日本の産業革命は、日清戦争前後から製糸業（生糸を作る）や紡績業（綿糸を作る）といった軽工業を中心に進展しました。これらの工場では、農村出身の若い女性たちが低賃金・長時間労働という厳しい条件のもとで主な担い手となり、日本の輸出を支えました。他の選択肢にある「定期市」や「座」は中世（鎌倉・室町時代）、「金座・銀座」は江戸時代の経済活動を象徴する仕組みです。
問10	答え 3 当初は男女間で大きな格差があったが、1905年頃には男女ともに就学率が90%を超える極めて高い水準に達した。	明治政府は1872年に学制を発布し、身分や性別に関わらず教育を受けさせる国民皆学を目指しました。当初は授業料の負担や貴重な労働力である子供を学校へ通わせることへの抵抗感から、特に女子の就学率が低く、男子の半分以下という時期もありました。しかし、その後の義務教育期間の延長や教育制度の整備、国民の意識の変化により、日露戦争が終結する1905年頃には男女ともに就学率が90%を超えるまでになりました。
問11	答え 1 欽定憲法	大日本帝国憲法は、主権者である天皇が定めて国民に授ける「欽定憲法（きんていけんぽう）」という形式をとりました。これに対し、現在の日本国憲法のように、主権者である国民が制定する憲法は「民定憲法」と呼ばれます。当時のドイツ（プロイセン）の憲法を参考に、日本の近代化を象徴する法典として発布されました。
問12	答え 2 近代国家の建設を目指し、身分や性別の区別なく教育を受けさせるために、全国に小学校を設立することを目指した。	明治政府が掲げた「邑（むら）に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」という理念に示される通り、学制は実益を重視し、国民全員が知識を身につけることで国力を強めることを目的としていました。天皇への忠誠を強調する教育方針は、後の1890年に発布された「教育勅語」によって強化されたものであり、学制の時点では近代的な知識の習得が優先されていました。